

△3月10日（水）開催 準例会

岳連の森づくりと観察へ

吉野宏・岳連普及委員長

年度の最終月である3月は、恒例の植樹作業である。

12年間に植えた苗木は、何本が育ち、何本が水不足やイノシシの被害で育つのを阻まれただろうか。しかし、その多くは立派に育ち、人間で言うならば、まもなく成人式を迎えるまでに来ている。夏の日照り、凍てつく冬場。そして、今日の様な暖かい小春日和から春を待ち、たくさんの水分を補給する梅雨を経て、栄養分を蓄積する秋を過ごす・・・。

そんな繰り返して木々はたくましく成長するのだ！いつまで森づくりにかかわることが出来るか分らぬが、美味しい酸素をたくさん出してくれる「森」は、生き物にとって最も大切な環境の場であろう。コロナの時代だからこそ、強くそう思う・・・ありがとう！！い～森(クスリ)です！！



コバナガマズミも植えました！



西側・下広場にもヤマザクラ植樹



お水をたっぷり！・・・早く育てよ！



植樹したヤマザクラの前で

天候 晴れ

参加者 17名（内ヒヨコ会員 16名）